

サッカロマイセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) 由来の無機ピロリン酸加水分解酵素、組換え

Cat. No. NATE-1281

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピロリン酸加水分解酵素（または無機ピロリン酸加水分解酵素）は、1つのピロリン酸分子を2つのリン酸イオンに交換する反応を触媒する酵素（EC 3.6.1.1）です。これは非常にエネルギー放出反応であり、したがって、これらの交換を完了させるために好ましくない生化学的交換に結びつけることができます。この酵素の機能は、脂質代謝（脂質の合成と分解を含む）、カルシウム吸収と骨形成、DNA合成、さらには他の生化学的交換において重要な役割を果たします。

用途 転写反応におけるRNAの収量を向上させる

別名 ピロリン酸ホスホヒドラーゼ; 無機ピロリン酸加水分解酵素; EC 3.6.1.1; 9024-82-2; iphosphateホスホヒドラーゼ

製品情報

種 サッカロマイセス・セレビシエ

由来 E. coli

形態 20 mM トリス-HCl (pH 8.0)、100 mM KCl、0.1 mM EDTA、1 mM ジチオスレイトールおよび50% グリセロール。

CAS登録番号 9024-82-2

分子量 71 kDa

濃度 100 単位/ ml

単位定義 1単位は、標準反応条件下で無機ピロリン酸から1 μ molのリン酸を生成する酵素の量です（25°Cで100 mM Tris-HCl、[pH 7.2]、2 mM MgCl₂および2 mM PPiの反応体積0.5 mlで10分間の反応）。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで